

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケア SEDスクール朝霞台			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日 ~ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日 ~ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 27日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりの発達や個性に合った内容の療育を提供すること	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックで保護者様から頂いた意見やご家庭での様子などから、お子様の意欲につながりそうなポイントなどを参考にして、療育のきっかけに取り入れている。 お子様の姿から発達段階を見極めている。また発達検査などを参考にしながら、お子様に合った段階付けを意識している。 	お子様の見立てをチームで多角的に行うために、個別支援計画の目的に向かっての明確な意識と、つながりのある療育が出来るよう、カンファレンスの内容を精査する。
2	保護者様との信頼関係を築くこと	<ul style="list-style-type: none"> 日々の丁寧な係わりを心掛けている。 保護者の方のお話を、その背景も含めて受け止めて、一緒に答えを探していくことを大切にしている。 	お子様の変化（成長発達）が、より強い信頼感に繋がるのと、療育の質の向上の為、療育目標の明確化と、標準化された発達スケールを使用したアセスメントを行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムの実施など保護者支援の選択肢が少ないこと	今年度は、職員の入れ替わりもあり、保護者様の考え方を聞かせて頂く機会や、スクールからの共有事項も、時間をかけて丁寧に行う事を優先した。そのため、保護者様お一人お一人に寄り添える形での支援として、家族支援加算1での個別の形で多く対応した。	今後は、保護者様同士のつながりとして、家族支援加算IIでのグループ対応なども含めた保護者支援を展開していく。ペアレントプログラムなどはニーズも高く、提供できる体制も整ったことから実施に向けて計画を進める。
2	定期的な情報発信が少ないこと	スクール独自のSNSサイト運営を行っておらず、ブログ更新を行っているリタリコ発達ナビは主に療育を探している保護者が対象となっていることから、現在利用されている保護者様、お子様への発信手段が少ない。また、スクール内の定期的な案内が、空き情報や眠育関係のみになっており、「今」に寄り添った変化のある内容の案内などが配信出来ていない。	家庭で取り組める遊びの紹介や、地域の情報、季節の取り組みなど、「今」を取り上げた内容の案内が出来るよう準備をする。
3			